

テレワーク・デイ×モバイルビッグデータ：① (株)ドコモ・インサイトマーケティング

1

テレワーク・デイ当日に人口が減少した500mメッシュエリアは、**1位 豊洲 2位 浜松町 3位 品川**

テレワーク・デイ当日 (10時台)
人口が減少した500mメッシュエリア トップ10

順位	地名	7月平均	テレワーク・デイ	人口減	減少率
1	豊洲	13,186	11,222	-1,964	-14.9%
2	浜松町	13,963	12,062	-1,901	-13.6%
3	品川	28,632	27,186	-1,446	-5.1%
4	日本橋	40,562	39,138	-1,424	-3.5%
5	西神田	15,373	14,088	-1,285	-8.4%
6	永田町	30,098	28,825	-1,273	-4.2%
7	大手町	41,479	40,239	-1,240	-3.0%
8	霞が関	29,451	28,244	-1,207	-4.1%
9	東五反田	14,640	13,439	-1,201	-8.2%
10	京橋	32,186	31,027	-1,159	-3.6%

表の凡例
 7月平均 : 7月の祝日およびテレワーク・デイを除く月曜日 (7/3,10,31) の500mメッシュの平均人口
 テレワーク・デイ : テレワーク・デイ (7/24) の各500mメッシュの平均人口
 人口減 : 「7月平均」に対する「テレワーク・デイ」の人口減少数
 減少率 : 「7月平均」に対する「テレワーク・デイ」の人口減少率

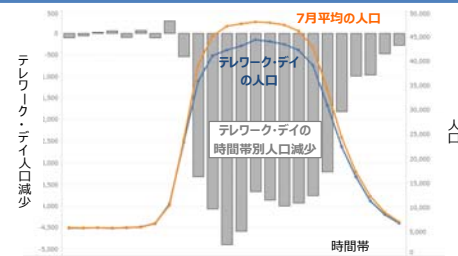
※調査対象は20~59歳
 ※いずれのデータも居住者は除外

テレワーク・デイ当日 (10時台)
東京周辺 (500mメッシュ) の人口減少ヒートマップ



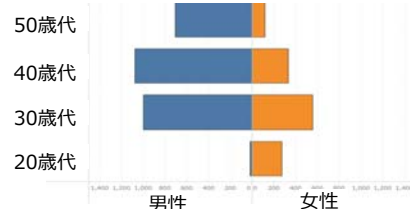
テレワーク・デイ当日
豊洲周辺 (1.5kmメッシュ) の人口減少

約4,900人(10%)減 (11時台)



40歳代男性の人口減が最多

テレワーク・デイの性年代別人口減少 (10時台)



©2017 DOCOMO InsightMarketing INC All Rights Reserved.

テレワーク・デイ×モバイルビッグデータ：② (株)KDDI

2

東京23区内の500mメッシュを分析すると、**テレワーク・デイ当日の出勤率が5%以上減少していたメッシュが都内の複数地域 (江東区・品川区・渋谷区・新宿区・中央区・千代田区・港区等) に存在。一定のワーク・シフトが発生していたことが想定される。**

職場別出勤減少エリア(500mメッシュ)

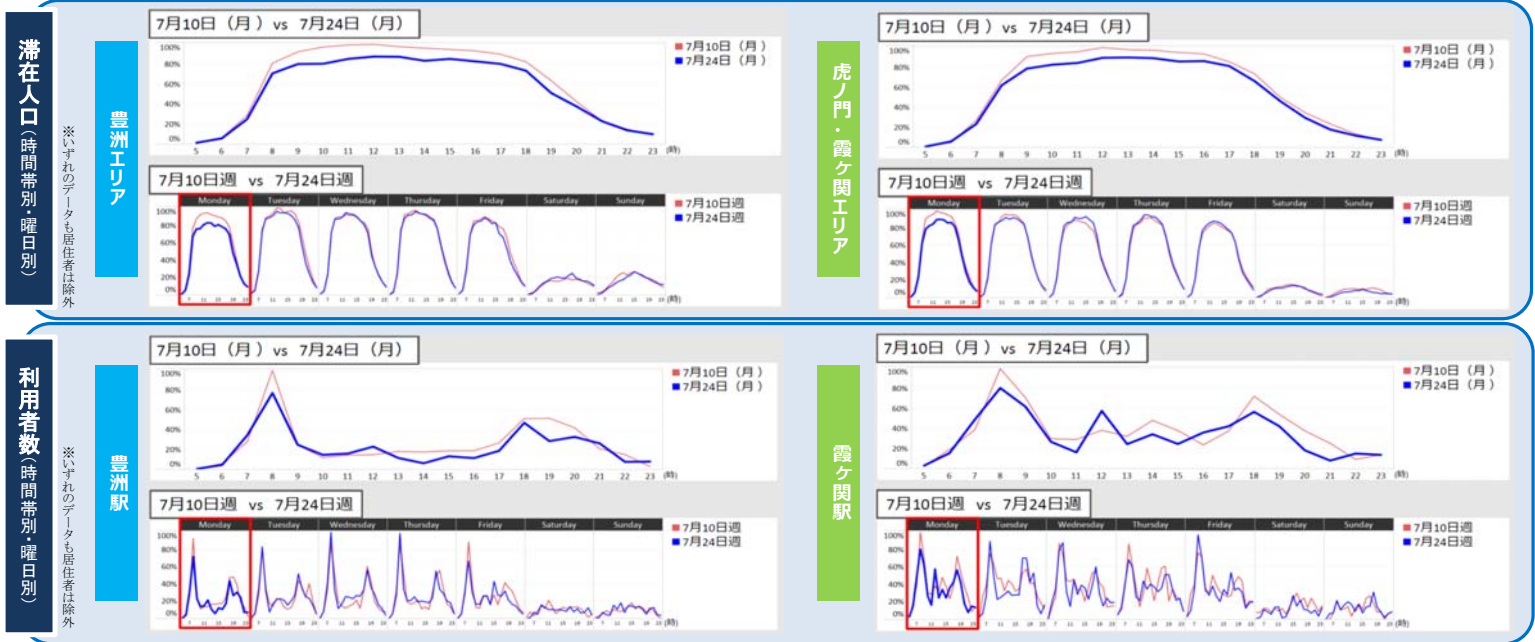


出勤率減少が大きいエリア

- 江東区 豊洲駅周辺
- 品川区 五反田駅周辺
- 渋谷区 渋谷ヒカリエ周辺
- 新宿区 新宿駅周辺
- 新宿区 都庁周辺
- 新宿区 東新宿駅周辺
- 中央区 茅場町駅周辺
- 中央区 新橋周辺
- 中央区 箱崎周辺
- 中央区 浜松町駅付近
- 千代田区 飯田橋駅周辺
- 千代田区 霞が関周辺
- 千代田区 神保町駅周辺
- 千代田区 水道橋駅周辺
- 千代田区 末広町駅周辺
- 港区 赤坂周辺
- 港区 虎の門周辺
- 港区 六本木ヒルズ周辺

【備考】
 1) 個別同意を得たユーザーの位置情報 (GPS)を元に判定した職場情報を活用し、職場を東京23区に限定して、テレワーク・デイ当日とそれ以外の月曜日 (7月) の出勤率を職場単位 (500mメッシュ) で比較。
 2) 人数が多く、出勤率の変動が大きいメッシュのみを抽出。
 3) 分析対象期間は、テレワーク・デイ当日は7/24のみ、月曜日は7/03・10・31の平均。
 4) 7月時点で23区内に職場のユーザを抽出し、職場と自宅が同一区内のユーザ (自営業者や近距離通勤者等) を除外。
 5) 出勤率は7時00分~11時00分の間、職場に来訪していたかどうかで判定。

豊洲エリアでは8～19時に人口が約1～2割減。豊洲駅では7～9時、18～20時に最大約2割減（12時前後はやや上昇）。虎ノ門・霞ヶ関も豊洲と同様の傾向だが、減少幅は豊洲よりもやや少ない。霞ヶ関駅では朝夕の減、昼の増が顕著。



※Copyright (C) 2017 Agoop Corp.

【参考】 テレワーク・デイによる公共交通機関の利用者減少

■ 混雑緩和に寄与した駅のあるエリアとテレワーク実施人数（特別協力団体による実施分）

エリア	テレワーク実施人数	テレワーク実施人数、時差通勤、有休を含む
1 豊洲	4911	11957
2 永田町・赤坂	3300	3300
3 虎ノ門・霞ヶ関	2916	3548
4 東京・大手町・日本橋	2881	3068
5 新橋・汐留	1939	2945
6 田町・三田	1900	3104
7 飯田橋	1742	1742
8 品川	1345	1449
9 お台場	1046	1046
10 初台	960	960
11 六本木・乃木坂	930	930
12 浜松町・大門	769	1402
13 秋葉原	607	607
14 宝町	500	750
15 有楽町・内幸町	279	800

注：各特別協力団体の本社所在地を基に算出

ピーク時間帯（8時台）の乗客減少量の例
 ※昨年7月25日（月）との比較

- 東京メトロ豊洲駅 **-10%**
- 都営芝公園駅 **-5.1%**
- 都営三田駅 **-4.3%**

各鉄道会社調べ



閑散とした駅改札の様子
 【出典】 サントリーホールディングス(株)